

「議会報告と町民との意見交換会」 顛末

開催日時：令和5年2月8日（水）午後7時30分～午後9時50分

開催場所：浜中町役場3階会議室

出席者：浜中漁協青壮年部6名、散布漁協青年部4名

浜中町農協青年部3名、浜中町商工会青年部3名

浜中町議会議員11名

会議次第

1 開会のことば（成田広報公聴常任副委員長）

2 開会のあいさつ（田甫広報公聴常任委員長）

3 議長挨拶（波岡議長）

4 議会概要報告（三上議会運営委員長）

5 委員会報告（各常任委員会委員長より口頭報告）

総務経済常任委員会（川村総務経済常任委員長）

社会文教常任委員会（落合社会文教常任委員長）

広報公聴常任委員会（田甫広報公聴常任委員長）

○意見交換会開始前に別紙出席者名簿に沿って議会側から順に自己紹介

6 意見交換会

A) 議会と町民の役割について（担当議員：波岡、成田、落合、前田）

B) 産業振興について（担当議員：川村、三上、秋森、渡部）

C) 人口減少社会に向けて（担当議員：中山、田甫、小松）

※意見交換会で出された意見等については別紙のとおり

○各産業団体青年部より意見交換会を終えての感想をいただく

7 閉会のことば（中山副議長）

「議会報告と町民との意見交換会」出席者名簿

■浜中町議会（意見交換会テーマA：議会と町民の役割について）

職名	氏名	備考
浜中町議会議長	波岡玄智	
浜中町議会 広報公聴常任委員会 副委員長	成田良雄	社会文教常任委員 監査委員
浜中町議会議員	落合俊雄	社会文教常任委員長 広報公聴常任委員
浜中町議会議員	前田光治	社会文教常任副委員長 東部消防組合議員

■浜中町議会（意見交換会テーマB：産業振興について）

職名	氏名	備考
浜中町議会議員	川村義春	総務経済常任委員長 広報公聴常任委員 議会運営委員 東部消防組合議長
浜中町議会議員	三上浅雄	議会運営委員長 総務経済常任副委員長 東部消防組合議員
浜中町議会議員	秋森新二	議会運営副委員長 総務経済常任委員
浜中町議会議員	渡部貴士	総務経済常任委員 広報公聴常任委員

■浜中町議会（意見交換会テーマC：人口減少社会に向けて）

職名	氏名	備考
浜中町議会副議長	中山真一	総務経済常任委員
浜中町議会 広報公聴常任委員会 委員長	田甫哲朗	社会文教常任委員 東部消防組合議員 公立大学議員
浜中町議会議員	小松克也	総務経済常任委員 広報公聴常任委員 議会運営委員

■浜中漁協青壮年部

職名	氏名	備考
副部長	成田 康平	
副部長	渡部 祥太郎	
監事	石井 利明	
代議員	吉野 将司	
支部長	佐澤 正哉	
事務局	野崎 航	

■散布漁協青年部

職名	氏名	備考
部長	村田 貴志	
副部長	田中 矢吹	
理事	永坂 真也	
事務局	杉田 涼太	

■浜中町農協青年部

職名	氏名	備考
部長	梅原剛徳	
副部長	下元翔太	
役員	柴田恭平	

■浜中町商工会青年部

職名	氏名	備考
部長	成田龍一郎	
副部長	赤石圭亮	
副部長	飯高啓太	

意見交換会テーマ A：議会と町民の役割について

出された意見（要旨）

①この町に欲しいもの

素晴らしい景観とたくさんの地場産品があり、それを目的に多くの観光客が来ている。しかし、残念ながら地元でそれを受け入れる宿泊施設、飲食店が無い。結果として地元にお金が落ちていないのでは。せっかく来ていただいたのだから地元の海産物、乳製品を地元で食べて貰いたい。最近はキャンパーが多くなってきている。去年はキャンプ場がいっぱいで泊まらず他に行ったという話もある。ホテルなどの話はすぐにはならないかもしれないが、キャンプ場の増設なら何とかできるのではないかと。さらには地元産品を売る場所（道の駅）もどうか。また、休日を地元で過ごしたいと思うが場所がない。飲食店を含め遠くに行かずとも近場があれば。人口減少対策に妙案は無いが「住みやすい町」を目指して欲しい。

②議会が始めた動画配信を見たことがあるか

一人が見たことがあったが（結構面白いと思った）大半が見ていないとの状況。今回その話を聞いて今後見てみようと思うとの意見が多く聞かれた。その中で見たい部分を探すのにもう少し見やすい工夫が出来ないかとの意見もあった。

③議会の定数削減に対しては

仕方ないとの意見がある一方、そのことで仕事は増えるのか、削減の理由はなどの質問もあった。

④議会に関心はあるか

率直に関心があるとは言えないが、今回の意見交換については評価する声が多かった。これからもこのような機会があれば参加をしたいという声があり、この取り組みは一定の評価をしてもらえたと考えられる。

意見交換会テーマ B：産業振興について

浜中漁協青壮年部

①産業の現状認識

浜に活気が無い。後継者不足は青年部活動に支障が出ている。出会いが無い（婚活）、嫁を貰っても実家暮らしは難しい。昆布干しの陸まわりが欲しい。魚価安が続き生活が苦しい。鮮魚などのブランド化に向け付加価値をつける努力が見られない。

②目指すべき姿・課題

漁業に従事したいと思わせる環境づくりとして高校などへの出前講座を継続すべき。青年部に加入する環境づくりと青年部活動に町補助を。鮮魚の価格を上げるための努力、魚の付加価値（氷下魚の製品化）をつけて売ることが検討。婚活支援のズレがある。陸まわりを確保し、昆布だけで食える（生活）ようにすべき。昆布・ウニがもっと高値で売れるように。

③課題達成に向けての施策

出前講座事業や他地域青年部との交流を通して勉強し、知識を深められる施策を望む。鮮魚の付加価値化（活締めなど）の工夫。組合・町・生産者・議会が密に連携する必要があるのでは。昆布干しの陸まわりの確保に町から支援補助を。昆布増産に向けた雑草駆除の仕方も工夫が必要では。ネコ足昆布（加工用）の増産を。

散布漁協青年部

①産業の現状認識

若い世代が少ない（青年へ加入しない）。後継者不足（家業の継承者、沖合漁業に従事する乗り子）。昆布干しの陸まわり不足。重油等燃油価格の高騰で経営が厳しい。ウニ価格の変動に不安がある。

②目指すべき姿・課題

若い人が青年部活動に出てきやすい環境づくりを。青年部の活動費（視察研修など）が確保でき、自己負担を軽減できるよう水産振興基金の活用を。燃油価格高騰対策として町の支援を。皆（漁民）が潤うよう生産物が高値で売れる対策を。昆布干しの陸まわり確保の対策を。

③課題達成に向けての施策

若い世代の勉強会開催を望む。青年部への継続支援（繰越金の額に関係なく）。視察研修への町補助を。鮮魚のブランド化を目指し、（活締めなど）のPRを。昆布干しの陸まわり確保に向け、町の支援を。（町は、職員の副業を認める施策を検討している。）

浜中町農協青年部

①産業の現状認識

穀物飼料の高騰、子牛の売却価格の暴落で経営は大変厳しい。後継者不足。

②目指すべき姿・課題

乳価は上がったが肥料や子牛の値段は下げ止まり、飼料などを共同購入し、堆肥の活用を図るべき。浜中で作られている牛乳があれば、潤いある経済環境になると思う。チーズ加工など自家製で作ることを検討すべき。個々の経営にあった営農へ見直しをすべきで、穀物飼料に頼らない経営として放牧を活用すべき。

③課題達成に向けての施策

牛乳の消費拡大を願う。給食（小・中・高など）への活用。地域が一体となって酪農経営を進める。酪農家から議員を出すことも重要。自ら販売できるアンテナショップを検討しては。堆肥の活用（バイオガスプラント・下水汚泥）を進める施策を。

浜中町商工会青年部

①産業の現状認識

水産加工：地元で取れる魚種が変わり、サンマが減りブリ・マグロが取れだしているが、加工して売れない状況。包装資材や運賃も値上げされ、経営に影響している。地球温暖化の影響を受けていると感じている。

定置漁：ふ化養殖（サケ）していることが町民に認知されていない。サケを沢山釣って売っている漁師がいるとのこと。問題である。漁獲量の減少はサケ定置漁業の経営に影響を与えている。

商業：商店の事業継承者が不足している。町内の購買力を高める。プレミアム商品券の継続（域内循環）を。

建設業：人手不足・資材の高騰・設備投資が少なく経営難である。

②目指すべき姿・課題

仲買人も高齢化しており、若い世代がいない。後継者不足である。

観光客などへ浜中の物産を売る場所（道の駅のような）を作るべきでは。建設業は受注が減少、従業員不足で会社を存続できるかが課題。

③課題達成に向けての施策

鮮魚の売り方を型にはまらないで売ること考えている。

釣りの規制を強化すべき。

魅力あるまちづくりを行政、議会が一丸となって進めていくべき。

意見交換会テーマ C：人口減少社会に向けて

①後継者就業交付金に関して

○交付対象要件の緩和

・実家に住み町内で勤め人として働いたが、家業（コンブ漁）を継ぐこととなり交付申請をしたが、住民票の移動がないことから対象外とされた。それでも自分は、後継者となり家業はもちろん青年部活動にも取り組んでいる。

今後、このような不公平を感じる人が生じないように、要件を緩和するなど制度の見直しを求めたい。

○家業後継者だけでなく広く産業後継者への支援策を

・高齢を理由にコンブ漁を辞める方への研修等を経て、漁業後継者を目指せる制度の創設。

・漁業をやりたいが二男・三男であることから後継者にはなれない。分家として漁業を営むにも組合員資格の取得がハードルとなる。（組合定款）

・農業研修牧場のような、漁業をやりたいと考えている新規就業者向けの制度があれば後継者対策にもなり人手不足対策にもなるのでは。

・ただ、コンブ漁は期間が限られており他の仕事もしなければ生活できないのが現状である。産業団体と町が主体となった「人材派遣会社」のような組織があれば社員として定住できるのでは。

・建設業界も人材確保に苦慮している。若者の都会志向もあり釧路の業者には応募があるが、浜中町には募集をしてもなかなか人が来ないのが現状である。

②婚活支援に関して

・婚活イベントがあれば参加したいが開催時期を考えて欲しい。（繁忙期は無理）

・従来の時間割のような形式では、成果は望めないと思う。

・「婚活イベント」と銘打たないでフランクに参加できる方が良いと思う。

例えば、浜中の味覚（海産物・ハーゲンダッツ・焼肉など）が堪能できる独身者向けの「食のイベント」の開催やソーセージ作り体験などを企画して、自然と相席となり話ができるような仕掛けがあればと思う。

・親と同居している独身男性が一人暮らしできるような住宅があれば、仲間との語らいや飲み会もできる。男女とも気軽に参加できることで出会いのきっかけにもなると思う。ただ、民間アパートは家賃が高く入居できない。茶内や霧多布にある公営住宅に入居できないものか。情報提供も含め考えて欲しい。

③移住定住支援事業に関して

・東京23区圏内からと限定する訳は。（国の事業であることを説明）

・町独自の移住者支援（地域を限定しない）も必要では。